

頻発化・激化そして複合化する 土砂災害に備えて



次 第

テーマ: 頻発化・激化そして複合化する土砂災害に備えて
実施組織: (一社) 日本応用地質学会 (災害地質研究部会)

開会挨拶: 米田 雅子 (防災学術連携体代表幹事)	15:00ー15:05
趣旨説明: 下村 博之 (日本応用地質学会 災害地質研究部会長/株式会社パスコ)	15:05ー15:10
話題提供	
1) 応用地質からの防災への対応(土砂災害の疑問55から) 講師: 千田 敬二 (副部会長/株式会社八州)	15:10ー15:35
2) 令和6年能登半島地震により発生した崩壊の地質的特徴 講師: 松澤 真 (幹事/京都大学防災研究所)	15:35ー16:00
3) 土砂災害の軽減に向けてー複合災害に備えてー 講師: 稲垣 秀輝 (顧問/株式会社環境地質)	16:00ー16:25
4) 最新の技術・トピックス 三次元計測による崩壊斜面調査 講師: 佐藤 昌人 (幹事/防災科学技術研究所)	16:25ー16:50
全体の質疑応答	16:50ー17:30

趣 旨



一般社団法人 日本応用地質学会は、地質学関連の様々な基盤学術を幅広く活用しながら、社会が抱える現代的な課題に対処することを実践しており、各種の研究部会活動を行っている。

災害地質研究部会は、地震や斜面災害などの地質災害に対し、応用地質学的な調査・研究手法を用いて多くの知見を見いだし、災害の軽減のためにその発生予測や被害軽減方策、復旧活動などに活用することを目指している。

近年の気候変動等の影響により土砂災害等は頻発化・激化しており、また地震災害と豪雨による複合災害なども、社会課題として位置づける必要がある。

私達が取り組んだ『令和6年能登半島地震災害調査団報告書』および出版物『土砂災害の疑問55』を題材として、web研究会にて最新の研究成果を共有したい。

参考文献



土砂災害の疑問55／日本応用地質学会・災害地質研究部会編
成山堂書店2022年6月刊行



現場経験豊富な

専門家23人が

55の疑問に総力回答！

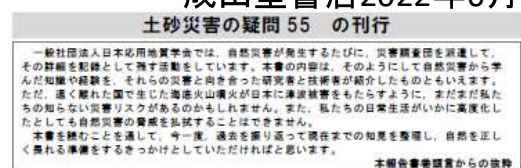
近年、発生頻度の高くなっている土砂災害のほか、地震や津波・火山噴火など地質災害の仕組み・種類・原因・対策についても解説。前兆現象から災害発生後の行動など身の守り方まで紹介。コラムでは近年発生した大規模な自然災害の概況も！



みんなが知りたいシリーズ⑦
土砂災害の疑問 55

一般社団法人
日本応用地質学会
災害地質研究部会 編

四六判・並製・232頁 定価 1,980円(税込)



目次 (抜粋)

Section 1 土砂災害とは	Section 5 地質災害と地盤
Q1 土砂災害とはどのようなものですか？	Q27 地質災害とはどのような災害ですか？
Q2 地質と地形は土砂災害に関連しているの？	Q28 日本の地形の特徴はどのようなものですか？
Q3 土砂災害はどのようなことが影響して起こるの？	Q29 地震による災害はどのようなものがありますか？
Section 2 がけ崩れ	Q30 津波による災害とはどのようなものですか？
Q12 がけ崩れの現象を教えてください	Q31 火山による災害って何があるの？
Q13 がけ崩れと土砂崩れの違いは何ですか？	Section 6 土砂災害から身を守る
Section 3 土石流	Q38 防災調査を知るための3法はありますか？
Q17 土石流とはどのような現象ですか？	Q39 災害が発生した場所を知ることはできますか？
Q18 土石流の発生前の現象を教えてください	Q40 土砂災害が起きたらどうすればいいのですか？
Section 4 地すべり	Q41 復旧からの復元を教えてください
Q22 地すべりとはどのような現象ですか？	Q42 復旧の心構えとして最低限必要なものは何でしょうか？
Q23 地すべり発生の仕組みはどうなっていますか？	

注文書 土砂災害の疑問 55

定 価：1,800円(会員価格)
1,980円(一般価格)(いづれも税込、別途送料・通信料はご負担ください)

申 込 日： 令和 年 月 日

購入内容： 会員価格 冊 / 一般価格 冊

申込者名： _____ 会員番号： _____

所属先名： _____

送 付 先： 自 宅 / 勤務先 (〇で囲ってください)

〒 _____

電 話： _____

E-mail： _____

ご注文先： 一般社団法人日本応用地質学会 FAX: 03-3259-8233
E-mail: office@jseg.or.jp

参考文献



日本応用地質学会

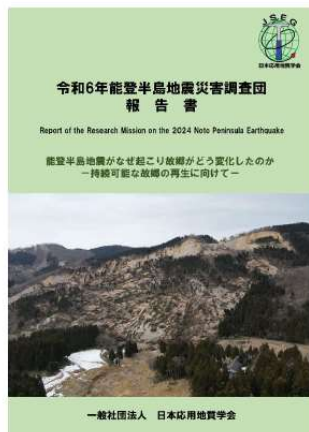
令和6年能登半島地震災害調査団報告書 日本応用地質学会

2025年1月刊行

令和6年能登半島地震災害調査団 報告書

Report of the Research Mission on the 2024 Noto Peninsula Earthquake

能登半島地震がなぜ起こり故郷がどう変化したのか
—持続可能な故郷の再生に向けて—



令和6年能登半島地震では、石川県を始めとして広範囲で様々な被害が発生しました。日本応用地質学会はその基盤性に鑑み災害調査団を結成して調査を実施し、報告書としてまとめました。

我が国では地表面は多くの場合、植生や表土に覆われ、野外地質調査や各種探査手法のみで地質の分布を適切に把握することは容易ではない。地質の理解には制約があることに加えて、たとえ地層や岩石の分布が正確に理解できたとしても、同一の地層や岩石でも風化・変質等によって強度等が変化する難しさがある。一方で災害が生じることによって新たな知見が得られる場合があることは否定することはできない。この報告書では、今回の地震により生じた応用地質学に関わる被害の状況を記録として克明に残すとともに、新たに得られた知見を後世に残すことにより、今後生じる災害が和らげられることを期待したい。

報告書巻頭言からの抜粋

目次

- | | |
|----------------|------------------|
| I. はじめに | VII. 環境への影響 |
| II. 災害の概要 | VIII. 石川県・富山県の被害 |
| III. 土砂災害 | IX. 新潟県の被害 |
| IV. 地形変動 | X. 福井県北部の被害 |
| V. 火山地質との関係 | XI. 減災に向けた提案と課題 |
| VI. 土木構造物の被災状況 | XII. おわりに |

定価：5,000円
会員価格：4,000円
A4版 オールカラー 334頁
ISBN978-4-931517-09-7・C3051

お申込みは下記サイトまたはQRコードから

<https://forms.gle/XChzpmqXERhEMeTH7>



もしくは下記注文書にてご連絡ください



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14
お茶の水桜ビル 7F

一般社団法人 日本応用地質学会 事務局

TEL:03-3259-8232 FAX:03-3259-8233

E-mail: office@jseg.or.jp

注文書

令和6年能登半島地震災害調査団報告書

定価：5,000円（会員価格：4,000円）
（別途送料はご負担願います）

申込日：令和 年 月 日

購入内容：冊

申込者名： 会員番号：

所属先名：

送付先：自宅 / 勤務先（〇で囲ってください）

〒

電話：

E-mail：



話題提供



日本応用地質学会

テーマ：頻発化・激化そして複合化する土砂災害に備えて

1) 応用地質からの防災への対応(土砂災害の疑問55から)

講師：千田 敬二（副部長／株式会社八州）

2) 令和6年能登半島地震により発生した崩壊の地質的特徴

講師：松澤 真（幹事／京都大学防災研究所）

3) 土砂災害の軽減に向けて—複合災害に備えて—

講師：稲垣 秀輝（顧問／株式会社環境地質）

4) 最新の技術・トピックス 三次元計測による崩壊斜面調査

講師：佐藤 昌人（幹事／防災科学技術研究所）